

＝ 特記事項 ＝

【工事概要】

工事場所：津市 北河路町 地内
 敷地面積：61,423㎡
 工事内容：施設名称 メッセウイング・みえ
 構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2階建
 延面積 8,588㎡
 工事項目 外壁塗装改修工事、内装改修工事

【施工条件】

- ・図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書」（平成25年度版）による。ただし、上記に記載なき場合は国土交通省大臣官房官庁監修の「公共建築工事標準仕様書」（平成25年度版）による。
- ・設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは、本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手前の調査については、事前に施設管理者及び、市監督員の承諾を得るものとし、施設の運営等に影響を与えない範囲とする。
- ・工事中の安全計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
- ・工事着手前には、現況把握の為に破損箇所があれば市監督員立会いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程において、既存施設に損害を与えた場合は、請負人の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。
- ・工事期間中も施設運営を行う為、施設利用者及び関係者に危害を与えないように注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
- ・交通誘導員は作業日常駐とすること。また、工事車両の構内乗入れ時には、徐行するものとし、施設関係者、来客者等の安全に注意を払うこと。
- ・工事車両及び工事関係車両については、指定された場所（施設管理者及び、市監督員と協議）に駐車するものとし、周辺道路等に駐車しないこと。ただし、資材の搬入・搬出時には工事場所最寄の出入口付近への一時的な駐車を可とするが、搬入出作業終了後は、速やかに車両を移動させること。
- ・資材・足場材等の荷揚げによる、揚重機の敷地内への進入時及び作業時には、交通誘導員を配置すること。
- ・外部足場の昇降用足場は、来館者等が立入らないように進入防止の措置を講ずること。
- ・工事用水、電力については、既存施設のものを利用できるが有償とする。
- ・平成28年10月1日から平成28年12月31日までの間、当該施設は、平日及び祝日は休館（展示場除く）であるが、土曜日及び日曜日はイベント等が行われている。
- ・内装工事については、平成28年12月中旬に工事を終了し、中間検査を受け、引き渡すこと。但し、各部屋においてまとまった施工可能日にずれがあるため、各部屋ごと中間検査を受けること。なお、中間検査の回数及び時期は監督員と協議すること。

下記にイベント開催日（部屋使用日）を示す。

1階中研修室：11月5,6,12,13,20,26,27日 12月3,4,11日

1階商談室（大）：11月5,6,11,12,26,27日 12月11,18日

1階商談室（小）：11月5,6,26,27日 12月11日

2階大研修室：11月5,6,11,12,13,19,20,26,27日 12月2,3,4,18日

2階中研修室：11月5,6,11,12,13,19,20日 12月11日

2階会議室：11月5,6,13,19,20日 12月3,4,11日

2階ギャラリー：11月5,6,26,27日

- ・2階事務室は、平日使用している為、間仕切り壁撤去については、土曜日及び日曜日にて撤去すること。
- ・2階事務室を除く各改修対象の部屋の家具等は、受注者により一時撤去再設置を行うこと。なお、一時保管場所については、監督員及び施設管理者と協議すること。

- ・当該施設及び施設周辺の外構において、改修工事が行われるため、津市産業・スポーツセンター新築工事の各受注者（4JV）との調整を行い、双方の工事が遅延なく行えるような工程計画をすること。

参考として、工期中の外構改修工事期間を下記に示す。

北面：11月上旬～12月上旬、1月下旬～4月上旬 東面：10月下旬～12月中旬、1月上旬～2月初旬

南面：10月中旬～4月下旬 西面：10月中旬～12月中旬

- ・フロン類の充填、回収作業を伴う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。

【外部足場】

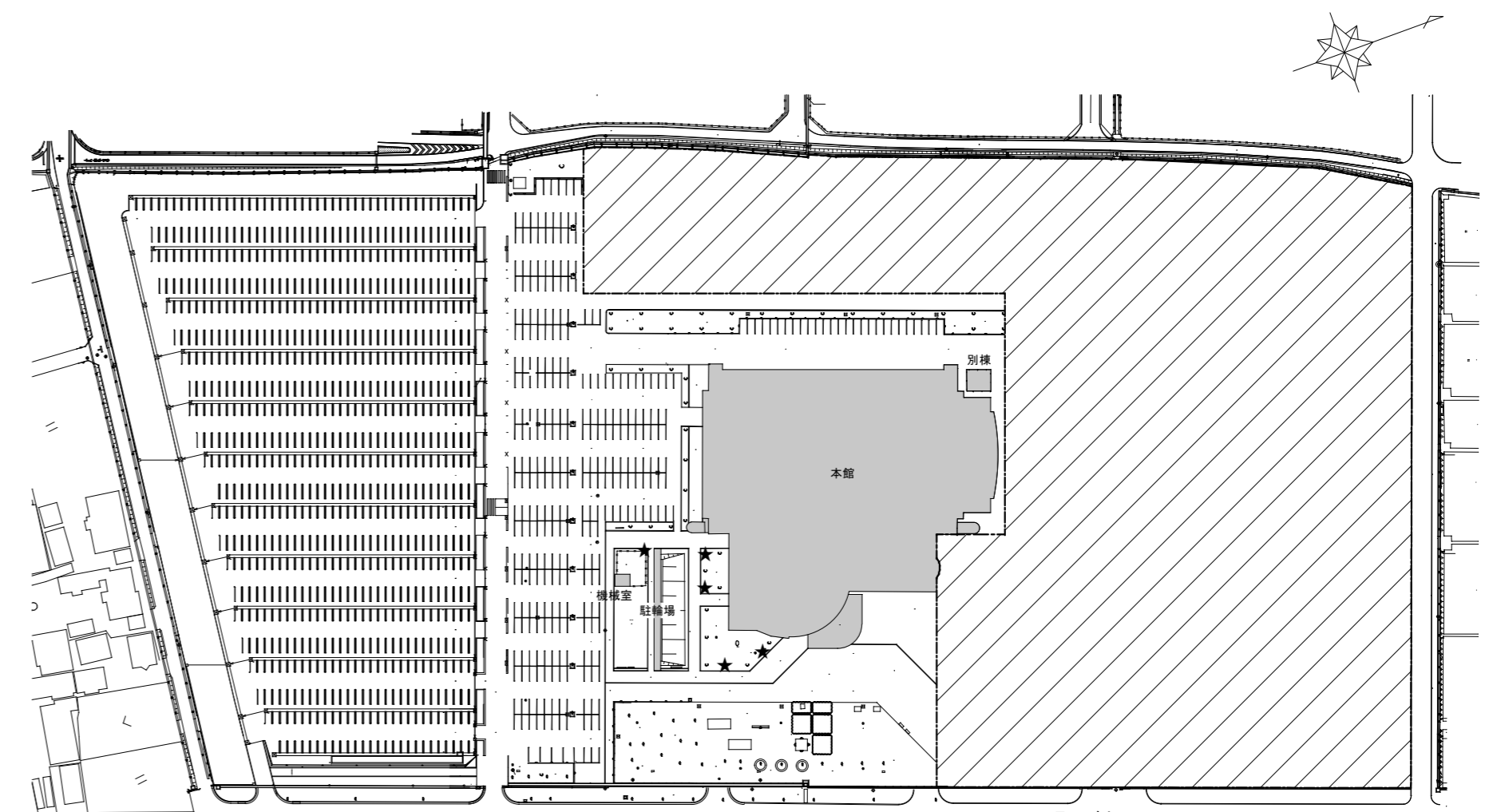
- ・枠組本足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（最新版）」により、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等の基準」による働きやすい安心感のある足場とし、改善措置機材による場合は手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。なお、同足場は、二段手すりとし、巾木の機能を有する部材をあらかじめ備えられた手すり先行足場型とするか、または、改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。

【解体撤去処分】

- ・本工により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、速やかに施工報告書(マニフェスト等の写し)を市監督員に提出すること。また、近隣に対し騒音・振動・粉塵等を配慮した施工を行うこと。



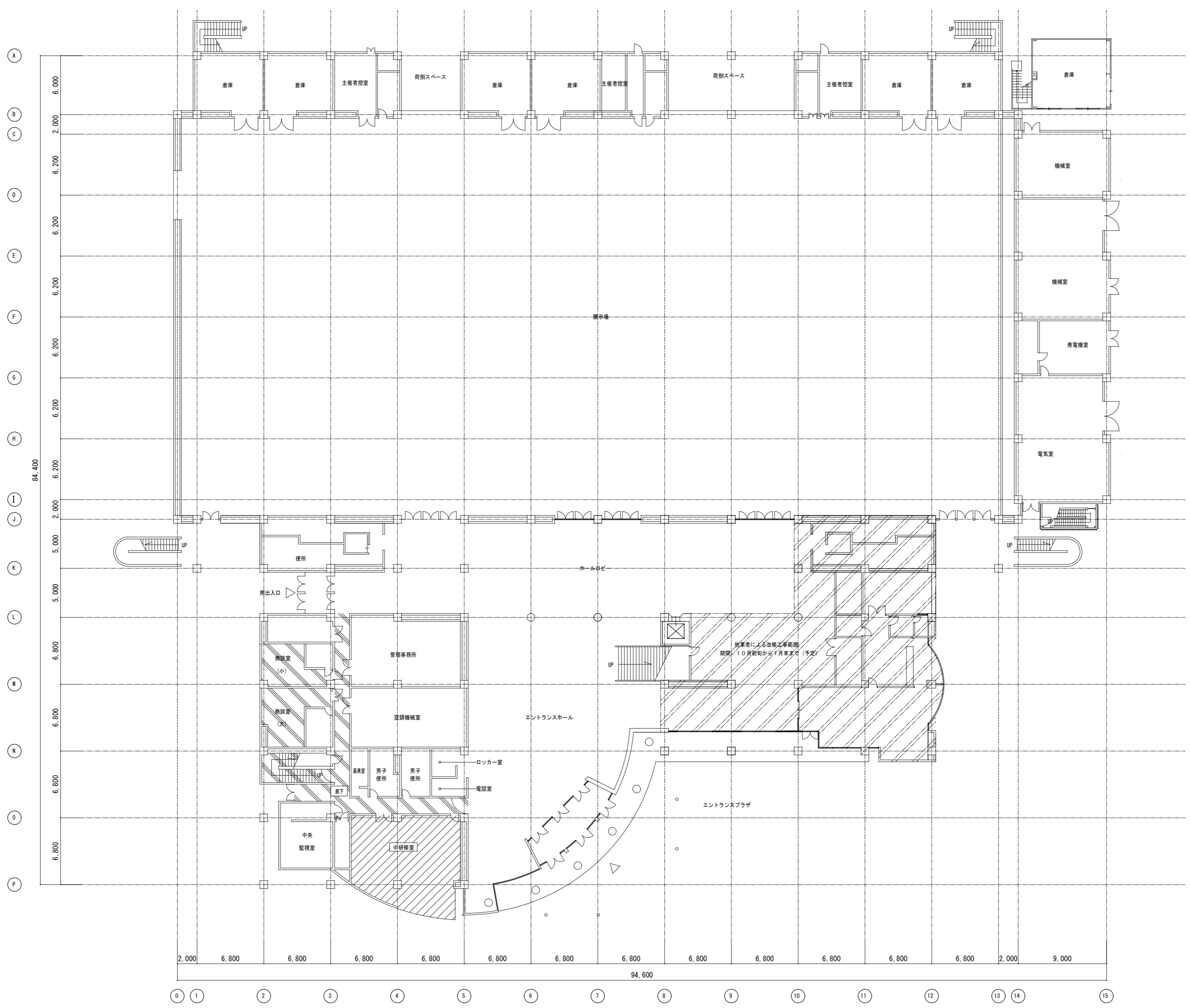
附近見取図



配置図 S=1/2000

- 凡例
- : 工事対象建物
 - ★ : 外灯塗替え (H=7.0m 5か所)
 - ▨ : 隣接工事エリア

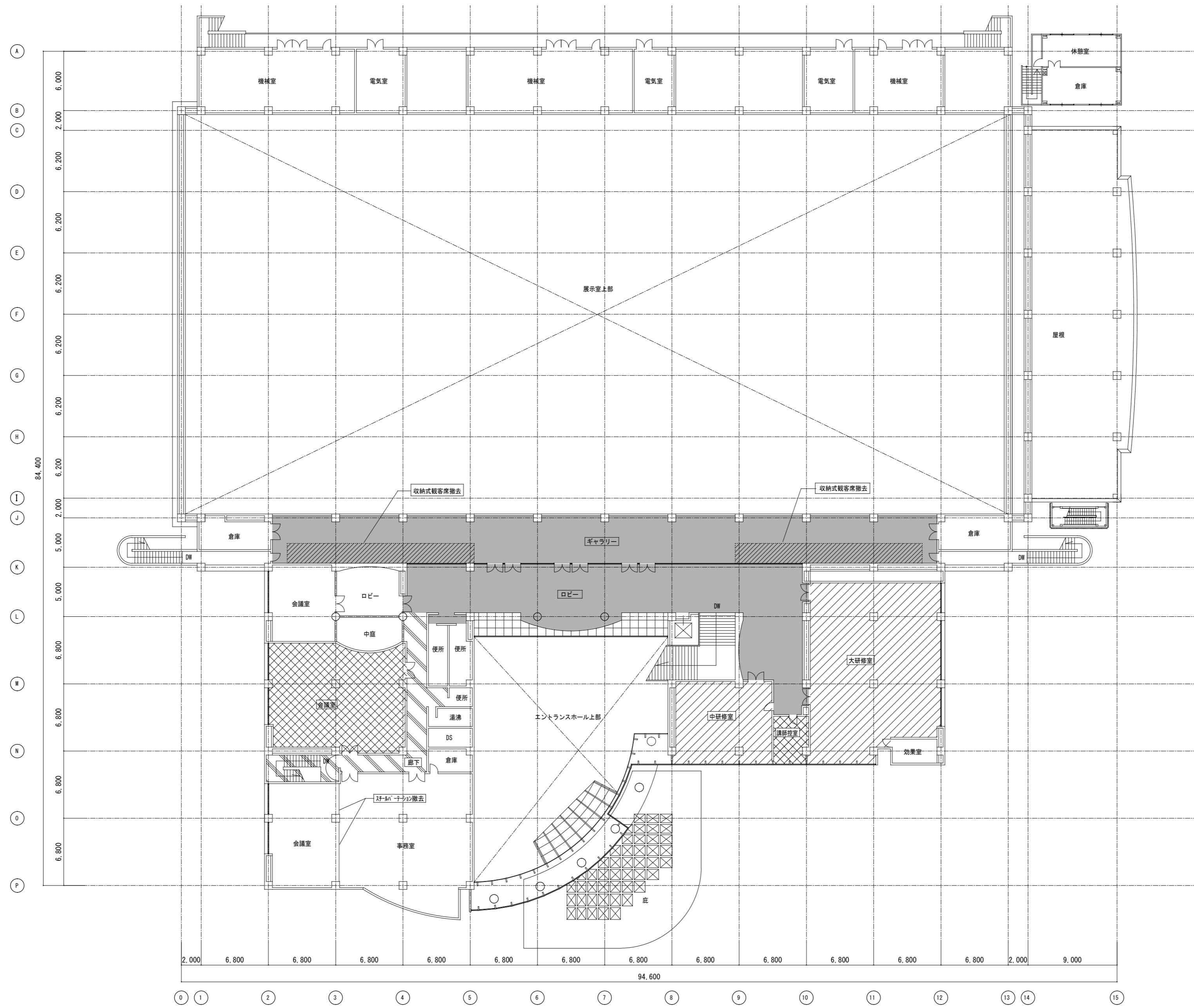
メッセウイング・みえ改修工事		縮尺 1/2000
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A2
津市建設部営繕課		No. 1/11



- 特記なき限り、内装改修範囲は下記とする。
- 1. : 壁紙張替
 - 2. : 壁面塗替及びタイルカーペット張替
 - 3. : 他業者による改修工事

1階平面図 SC1:300

メッセウイング・みえ改修工事		縮尺 1/300
図面名称	1階平面図	原図: A 2
津市建設部営繕課		No. 2/11

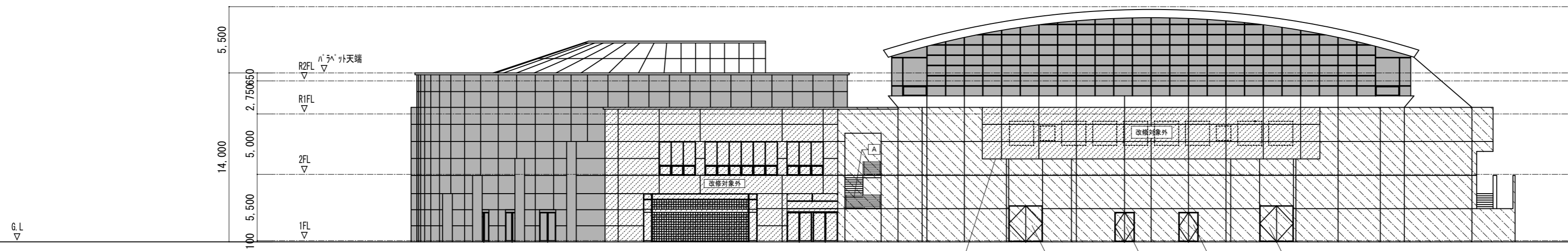


特記なき限り、内装改修範囲は下記とする。

- 1. [Diagonal Hatching] : 壁紙張替
- 2. [Cross-hatching] : 壁紙張替及びタイルカーペット張替
- 3. [Diagonal Hatching with Dots] : 壁面塗替及びタイルカーペット張替
- 4. [Solid Grey] : タイルカーペット張替

2階平面図 SC1:300

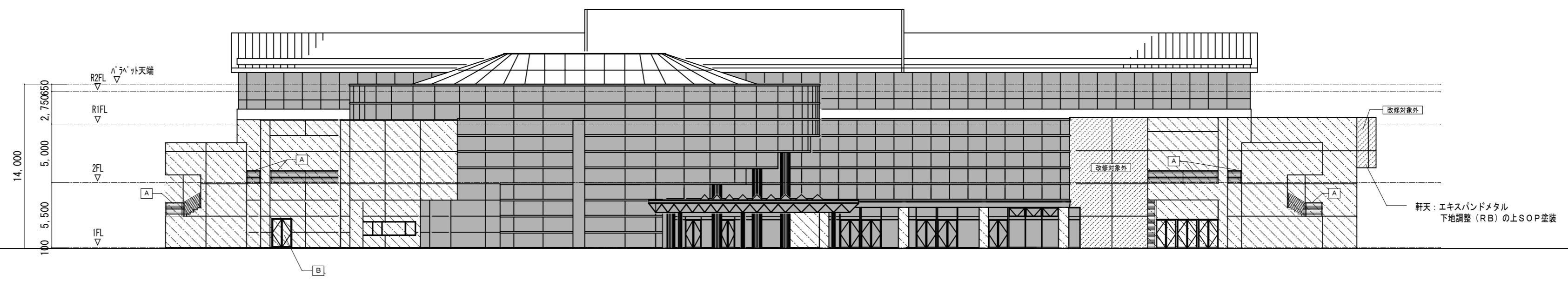
メッセウイング・みえ改修工事		縮尺 1/300
図面名称	2階平面図	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 3 / 12



軒天: エキスパンドメタル
下地調整 (RB) の上SOP塗装

北立面図

- 特記なき限り、下記とする。
1. [Hatching]: 外壁改修範囲 [Grey Box]: 高圧洗浄のみ
 2. 外壁は、高圧洗浄後下地調整の上、防水型複層塗材Eとする。
 3. 窓等の建具は、高圧洗浄とし、鋼製建具 ([B]) 及び軒天エキスパンドメタルは下地調整 (RB) の上SOP塗装とする。
 4. 屋根、外部階段床面及び外部廊下床面は、改修対象外とする。
 5. [A]: 下地調整 (RB) の上SOP塗装 (鋼製手摺部分)。

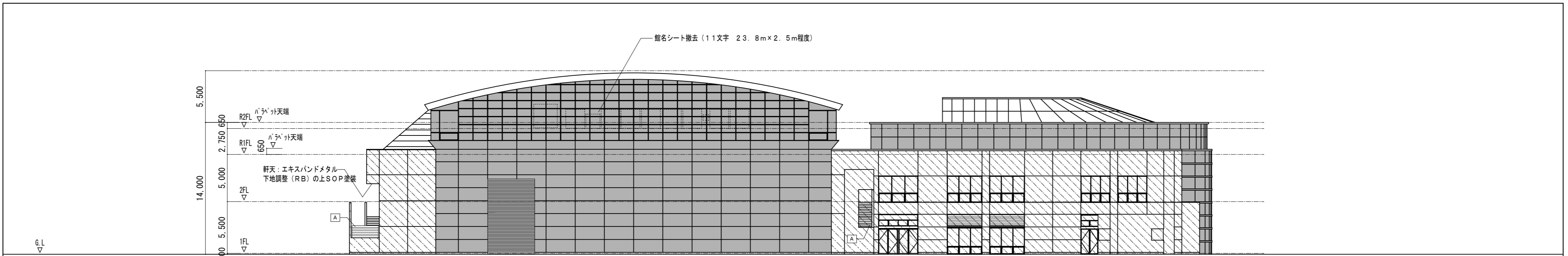


軒天: エキスパンドメタル
下地調整 (RB) の上SOP塗装

東立面図

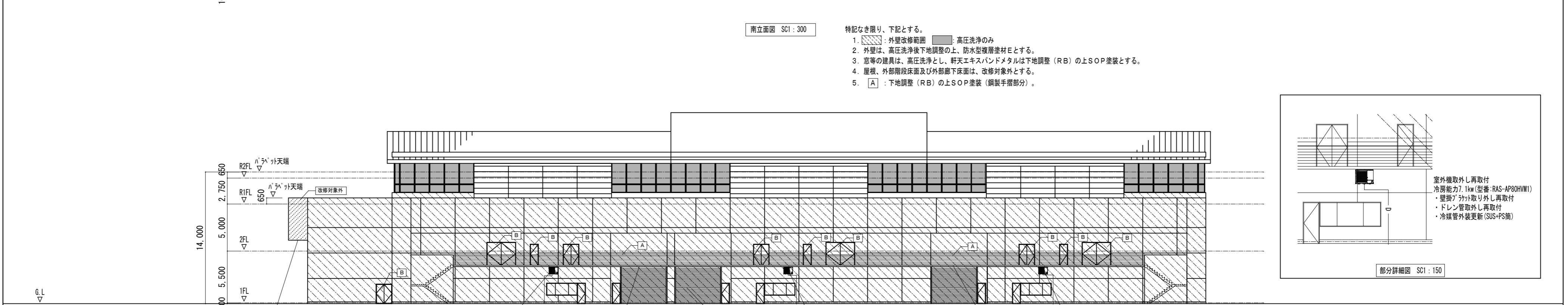
- 特記なき限り、下記とする。
1. [Hatching]: 外壁改修範囲 [Grey Box]: 高圧洗浄のみ
 2. 外壁は、高圧洗浄後下地調整の上、防水型複層塗材Eとする。
 3. 窓等の建具は、高圧洗浄とし、鋼製建具 ([B]) 及び軒天エキスパンドメタルは下地調整 (RB) の上SOP塗装とする。
 4. 屋根、外部階段床面及び外部廊下床面は、改修対象外とする。
 5. [A]: 下地調整 (RB) の上SOP塗装 (鋼製手摺部分)。

メッセウイング・みえ改修工事		縮尺 1/300
図面名称	立面図 (1)	原図: A 2
津市建設部営繕課		No. 4 / 11



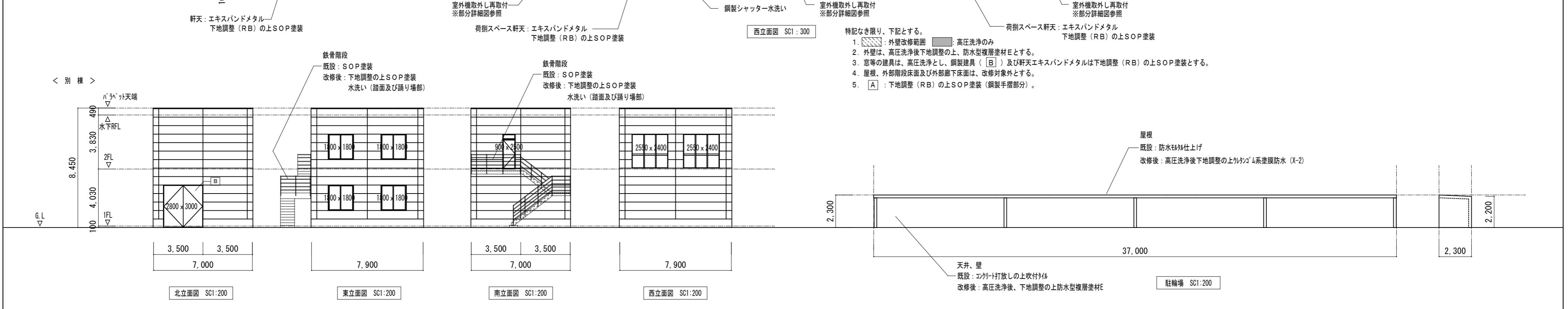
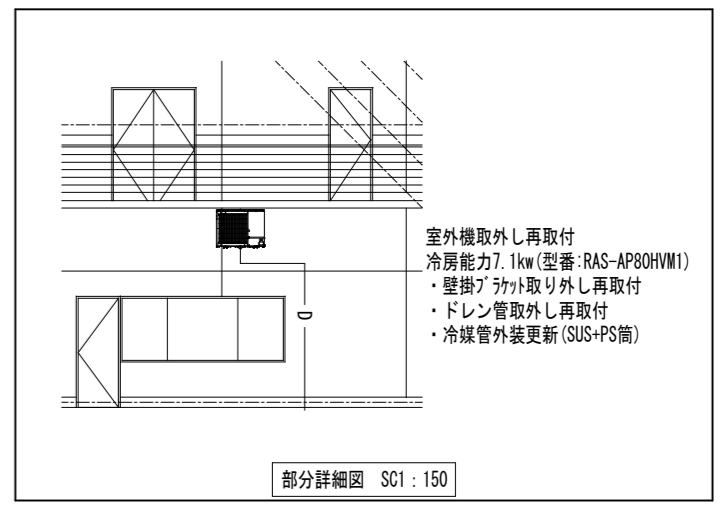
南立面図 SC1:300

- 特記なき限り、下記とする。
1. [斜線]: 外壁改修範囲 [点線]: 高圧洗浄のみ
 2. 外壁は、高圧洗浄後下地調整の上、防水型複層塗材Eとする。
 3. 窓等の建具は、高圧洗浄とし、軒天エキスパンドメタルは下地調整 (RB) の上SOP塗装とする。
 4. 屋根、外部階段床面及び外部廊下床面は、改修対象外とする。
 5. [A]: 下地調整 (RB) の上SOP塗装 (鋼製手摺部分)。



西立面図 SC1:300

- 特記なき限り、下記とする。
1. [斜線]: 外壁改修範囲 [点線]: 高圧洗浄のみ
 2. 外壁は、高圧洗浄後下地調整の上、防水型複層塗材Eとする。
 3. 窓等の建具は、高圧洗浄とし、鋼製建具 ([B]) 及び軒天エキスパンドメタルは下地調整 (RB) の上SOP塗装とする。
 4. 屋根、外部階段床面及び外部廊下床面は、改修対象外とする。
 5. [A]: 下地調整 (RB) の上SOP塗装 (鋼製手摺部分)。



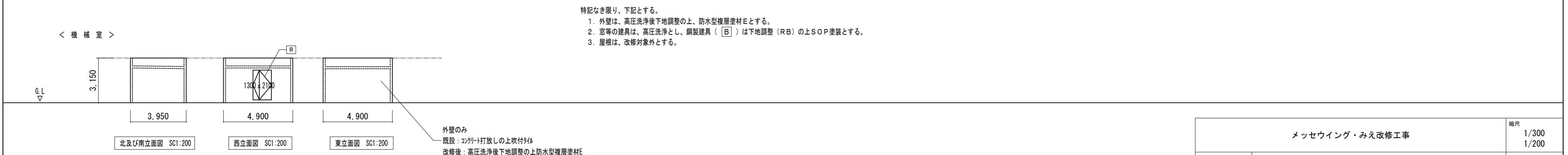
北立面図 SC1:200

東立面図 SC1:200

南立面図 SC1:200

西立面図 SC1:200

駐輪場 SC1:200



北及び南立面図 SC1:200

西立面図 SC1:200

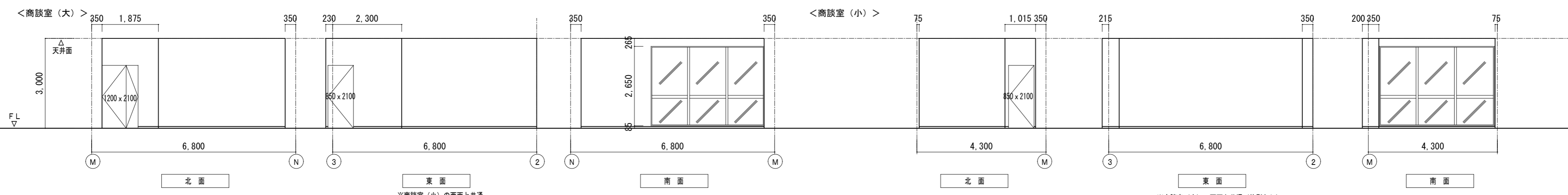
東立面図 SC1:200

- 特記なき限り、下記とする。
1. 外壁は、高圧洗浄後下地調整の上、防水型複層塗材Eとする。
 2. 窓等の建具は、高圧洗浄とし、鋼製建具 ([B]) は下地調整 (RB) の上SOP塗装とする。
 3. 屋根は、改修対象外とする。

- 特記なき限り、下記とする。
1. 外壁は、高圧洗浄後下地調整の上、防水型複層塗材Eとする。
 2. 窓等の建具は、高圧洗浄とし、鋼製建具 ([B]) は下地調整 (RB) の上SOP塗装とする。
 3. 屋根は、改修対象外とする。

メッセウイング・みえ改修工事		縮尺	1/300 1/200
図面名称	立面図 (2)	原図	A 2
津市建設部 営繕課		No.	5 / 11

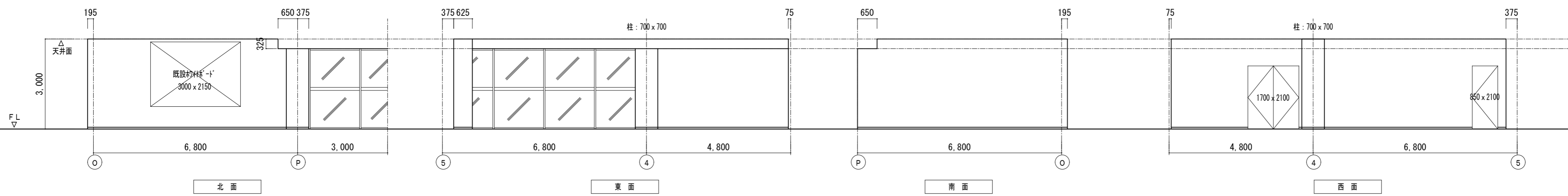
1階 商談室 (大) (小) ※建具等の寸法は 高さ×幅 を示す。(各部屋共通)



< 仕上げ表 > ※特記なき限り、建具は改修不要 (各部屋共通)

部位	既存仕上げ仕様	改修後仕上げ仕様
床	長尺塩ビシート張	既設のまま
巾木	ソフト巾木 H=60	既設ソフト巾木撤去後、ソフト巾木 H=60 新設
壁	モルタル金ゴテ下地 ビニールクロス貼	下地調整の上ビニールクロス張替
天井	岩綿吸音板張 EP塗装	既設のまま

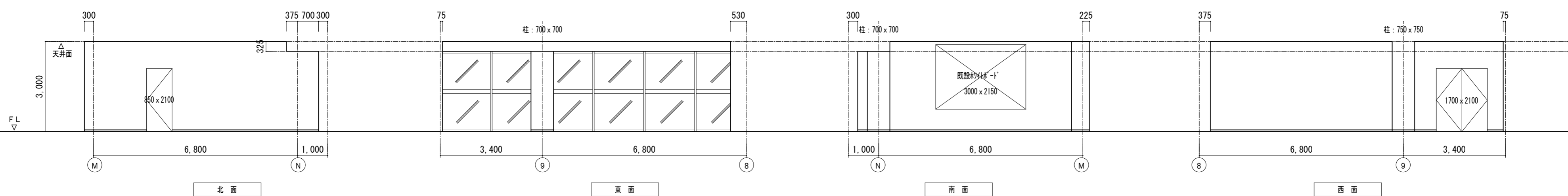
1階 中研修室 ※建具等の寸法は 幅×高さ を示す。(各部屋共通)



< 仕上げ表 > ※特記なき限り、建具は改修不要 (各部屋共通)

部位	既存仕上げ仕様	改修後仕上げ仕様
床	タイルカーペット敷き	タイルカーペット張替
巾木	スチール製焼付塗装 H=60	下地調整の上SOP塗装 (B種)
壁	PB下地 (t=12) ガラスクロス貼 EP塗装	下地調整の上EP塗装 (B種)
天井	PB下地 (t=9) 二重張 (一部岩綿吸音板) EP塗装	既設のまま

2階 中研修室 ※建具等の寸法は 幅×高さ を示す。(各部屋共通)



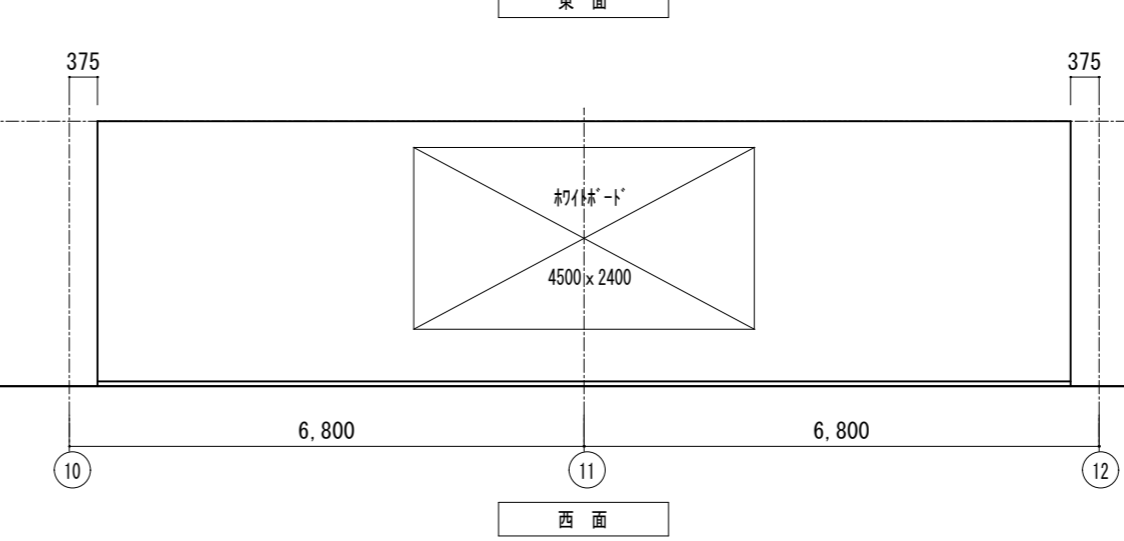
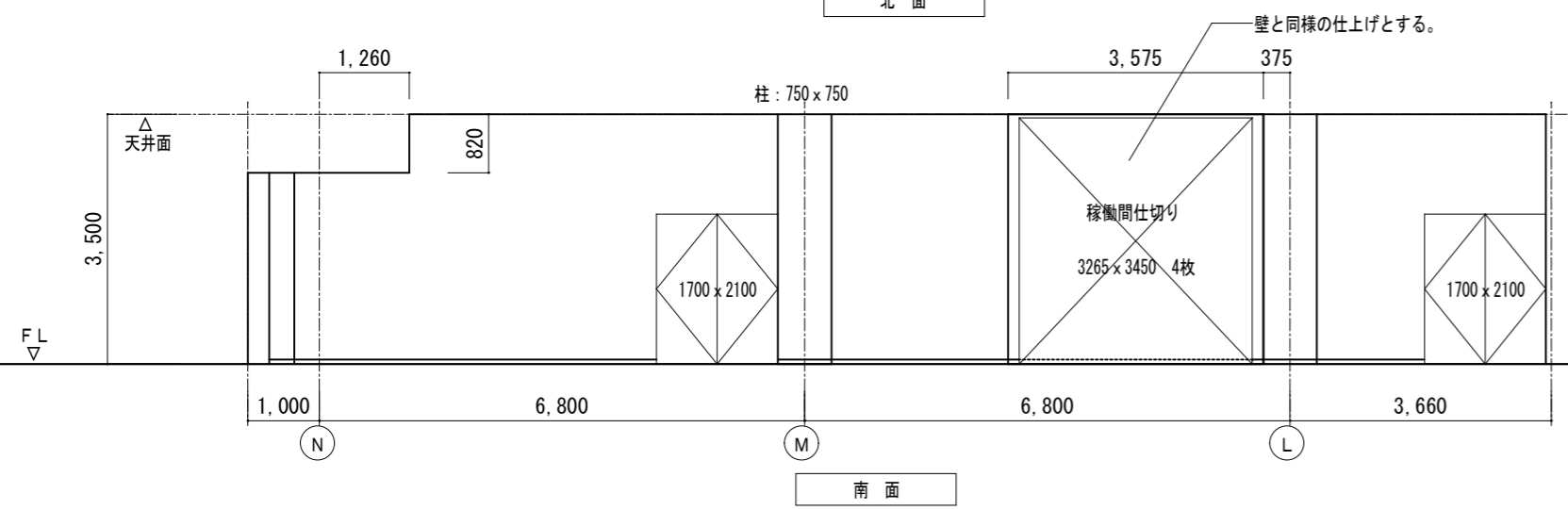
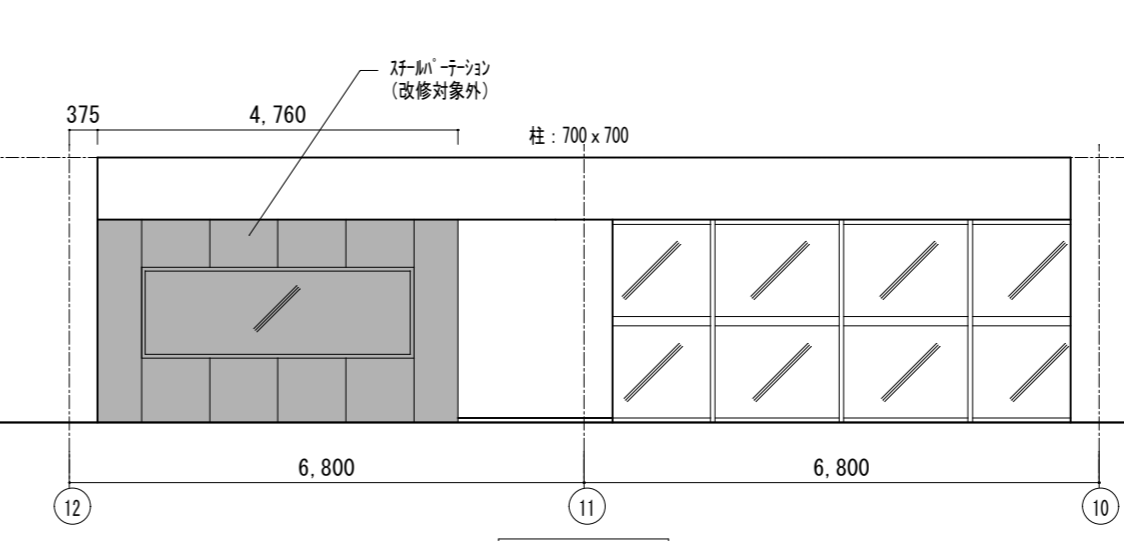
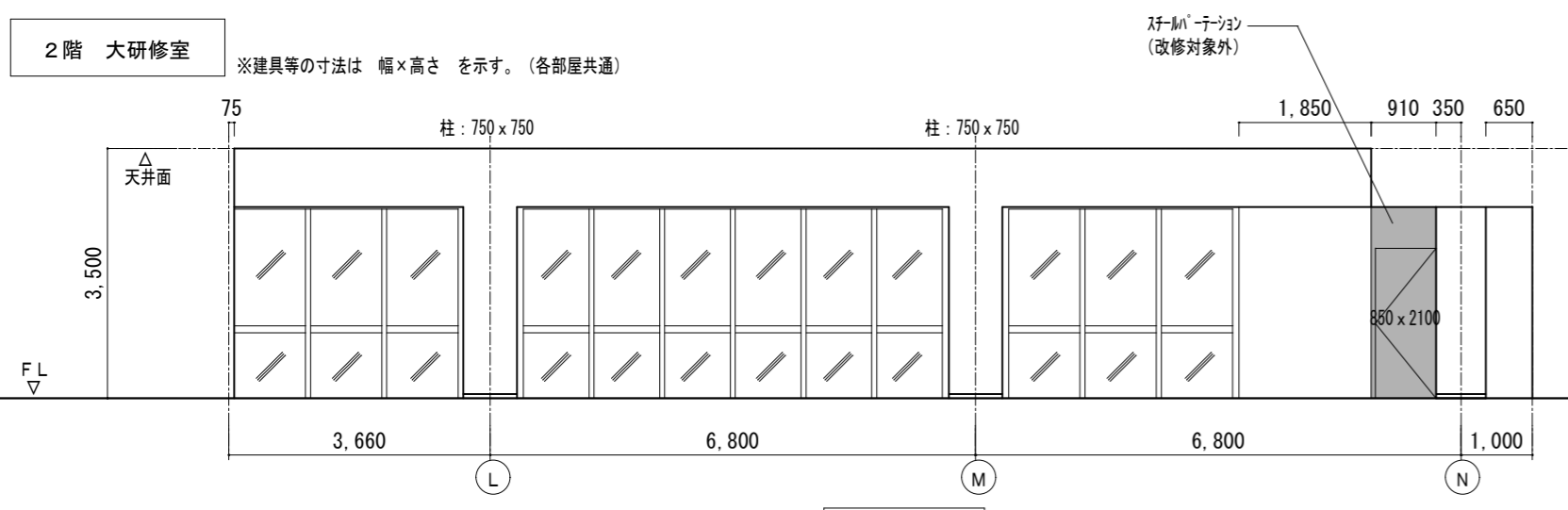
< 仕上げ表 > ※特記なき限り、建具は改修不要 (各部屋共通)

部位	既存仕上げ仕様	改修後仕上げ仕様
床	タイルカーペット敷き	タイルカーペット張替
巾木	スチール製焼付塗装 H=60	下地調整の上SOP塗装 (B種)
壁	PB下地 (t=12) ガラスクロス貼 EP塗装	下地調整の上EP塗装 (B種)
天井	岩綿吸音板張 EP塗装	既設のまま

メッセウイング・みえ改修工事		縮尺 1/100
図面名称	展開図 (1)	原因 : A 2
津市建設部 営繕課		No. 6 / 11

2階 大研修室

※建具等の寸法は 幅×高さ を示す。(各部屋共通)

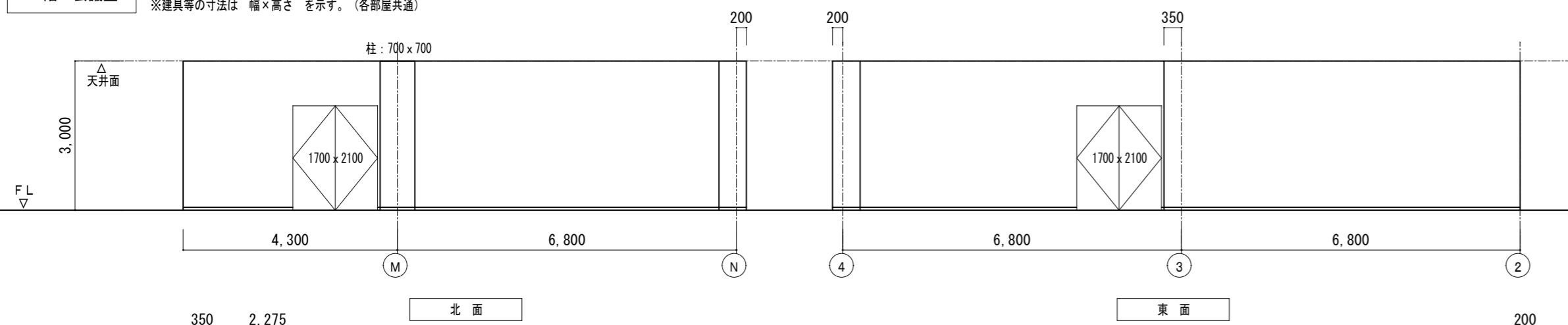


< 仕上げ表 > ※特記なき限り、建具は改修不要 (各部屋共通)

部位	既存仕上げ仕様	改修後仕上げ仕様
床	タイルカーペット敷き	タイルカーペット張替
巾木	スチール製焼付塗装 H=60	下地調整の上SOP塗装 (B種)
壁	PB下地 (t=12) ガラスクロス貼 EP塗装	下地調整の上EP塗装 (B種)
天井	PB (t=9) 二重貼 EP塗装	既設のまま

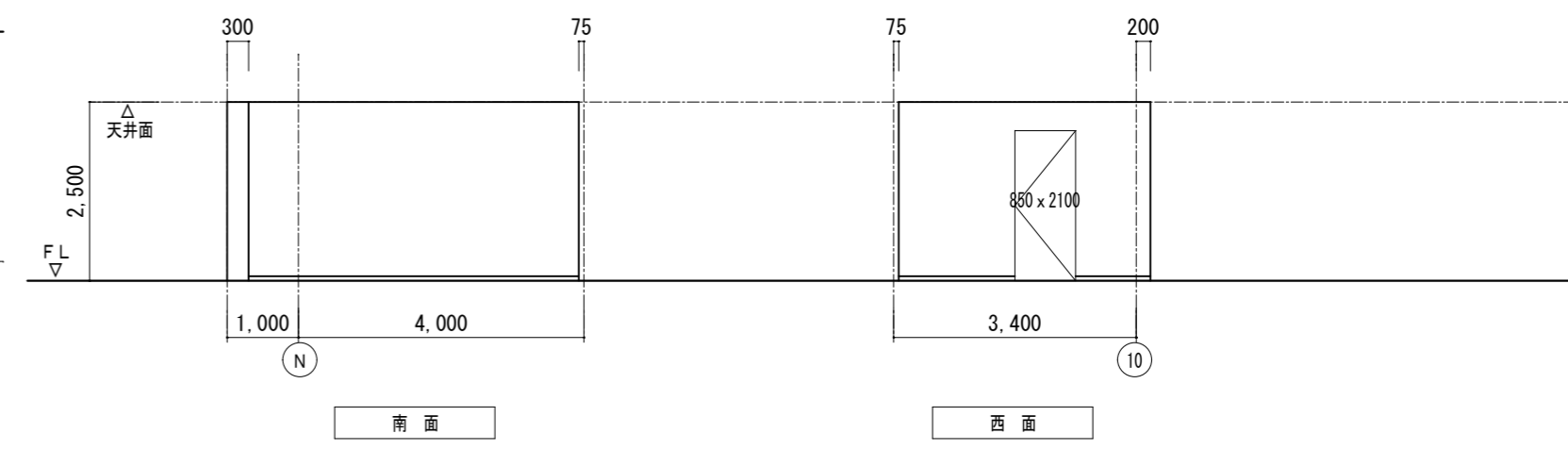
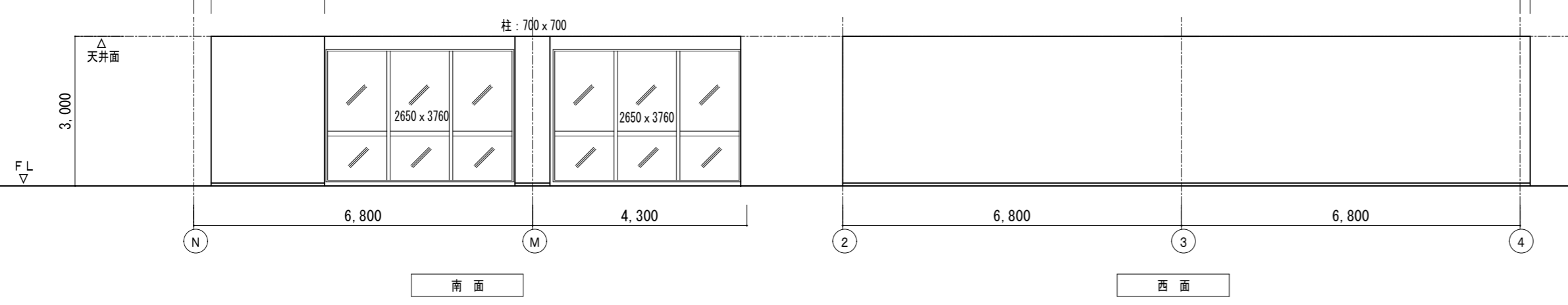
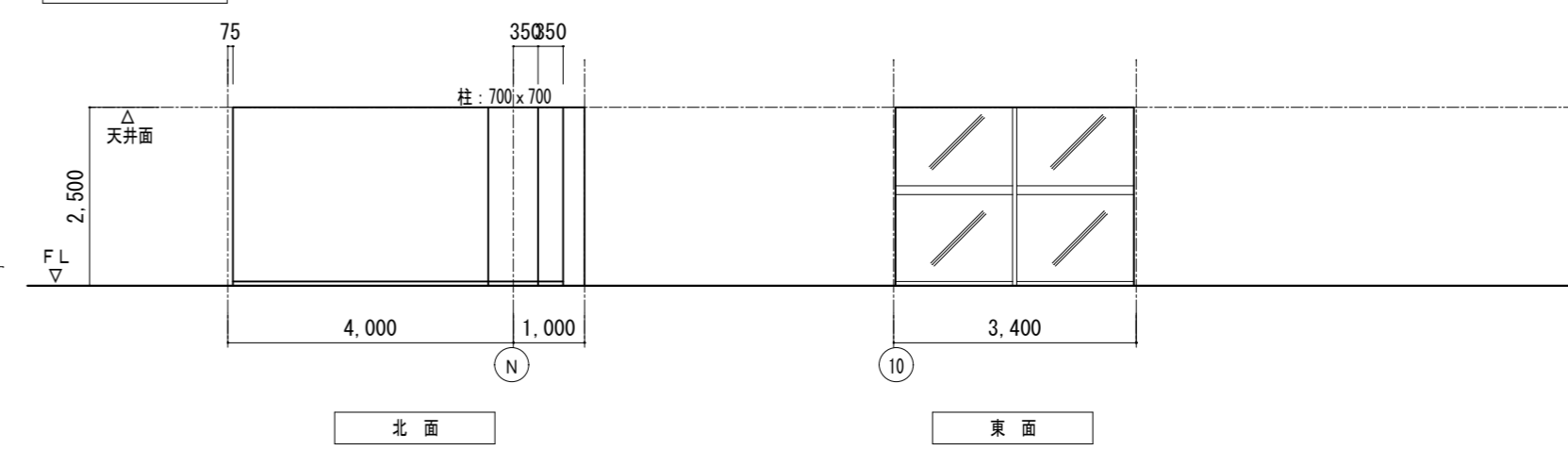
2階 会議室

※建具等の寸法は 幅×高さ を示す。(各部屋共通)



講師控室

※建具等の寸法は 幅×高さ を示す。(各部屋共通)



< 仕上げ表 > ※特記なき限り、建具は改修不要 (各部屋共通)

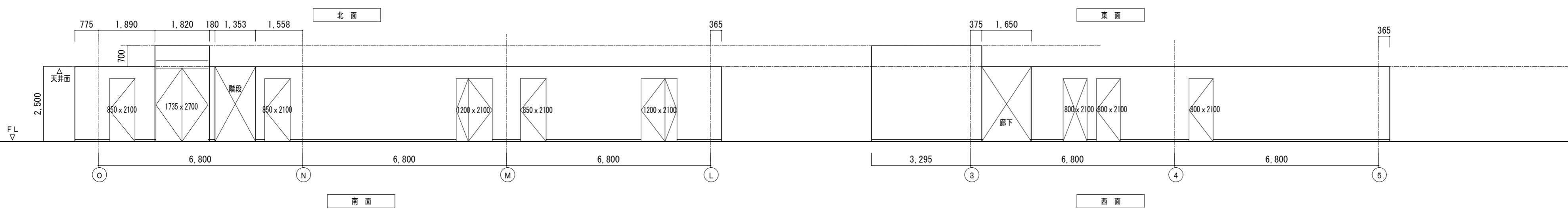
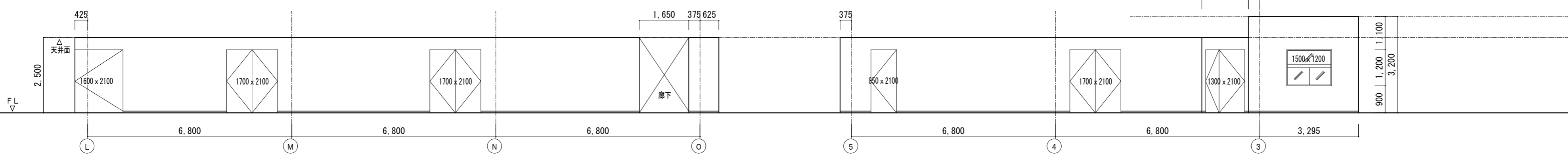
部位	既存仕上げ仕様	改修後仕上げ仕様
床	タイルカーペット敷き (OAフロア)	タイルカーペット張替
巾木	ソフト巾木 H=60	既設ソフト巾木撤去後、ソフト巾木 H=60 新設
壁	モルタル金ゴテ下地 ビニールクロス貼	下地調整の上ビニールクロス張替
天井	岩綿吸音板張	既設のまま

< 仕上げ表 > ※特記なき限り、建具は改修不要 (各部屋共通)

部位	既存仕上げ仕様	改修後仕上げ仕様
床	タイルカーペット敷き	タイルカーペット張替
巾木	ソフト巾木 H=60	既設ソフト巾木撤去後、ソフト巾木 H=60 新設
壁	モルタル金ゴテ下地 ビニールクロス貼	下地調整の上ビニールクロス張替
天井	岩綿吸音板張	既設のまま

メッセウイング・みえ改修工事		縮尺 1/100
図面名称	展開図 (2)	原因 : A 2
津市建設部営繕課		No. 7/11

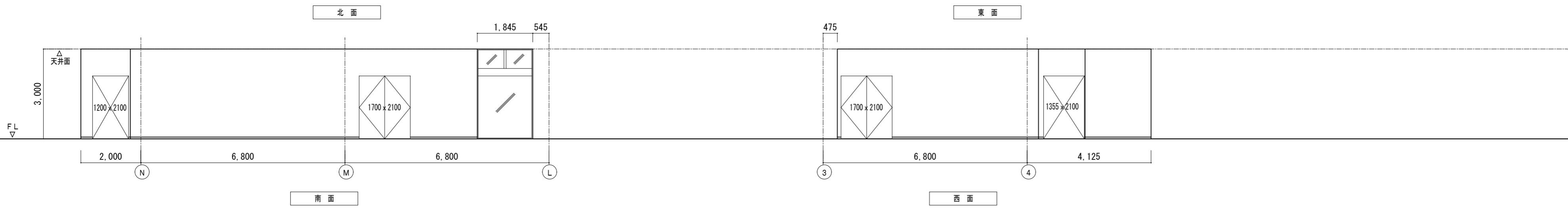
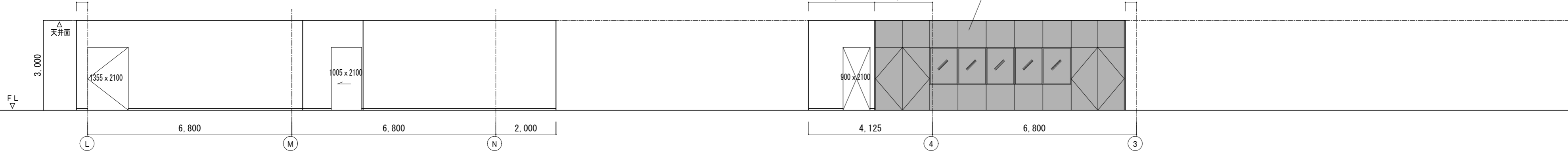
1階 廊下 ※建具等の寸法は 幅×高さ を示す。(各部屋共通)



< 仕上げ表 > ※特記なき限り、建具は改修不要 (各部屋共通)

部位	既存仕上げ仕様	改修後仕上げ仕様
床	ビニルタイル	既設のまま
巾木	ソフト巾木 H=60	既設ソフト巾木撤去後、ソフト巾木 H=60 新設
壁	モルタル金ゴテ下地 ビニールクロス貼	下地調整の上ビニールクロス張替
天井	岩綿吸音板張	既設のまま

2階 廊下 ※建具等の寸法は 幅×高さ を示す。(各部屋共通)



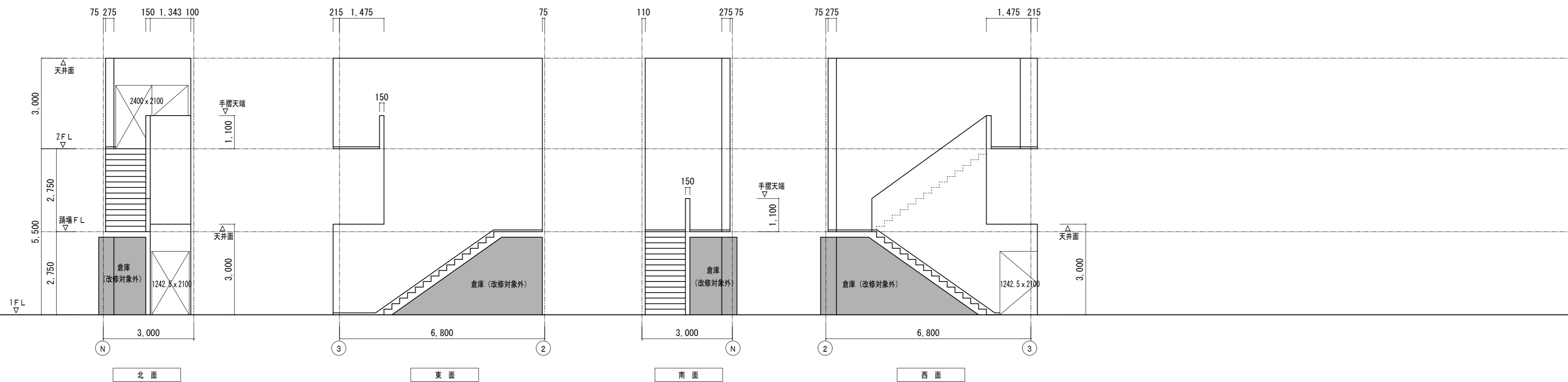
< 仕上げ表 > ※特記なき限り、建具は改修不要 (各部屋共通)

部位	既存仕上げ仕様	改修後仕上げ仕様
床	ビニルタイル	既設のまま
巾木	ソフト巾木 H=60	既設ソフト巾木撤去後、ソフト巾木 H=60 新設
壁	モルタル金ゴテ下地 ビニールクロス貼	下地調整の上ビニールクロス張替
天井	岩綿吸音板張	既設のまま

メッセウイング・みえ改修工事		縮尺 1/100
図面名称	展開図 (3)	原図 : A2
津市建設部営繕課		No. 8/11

階段室

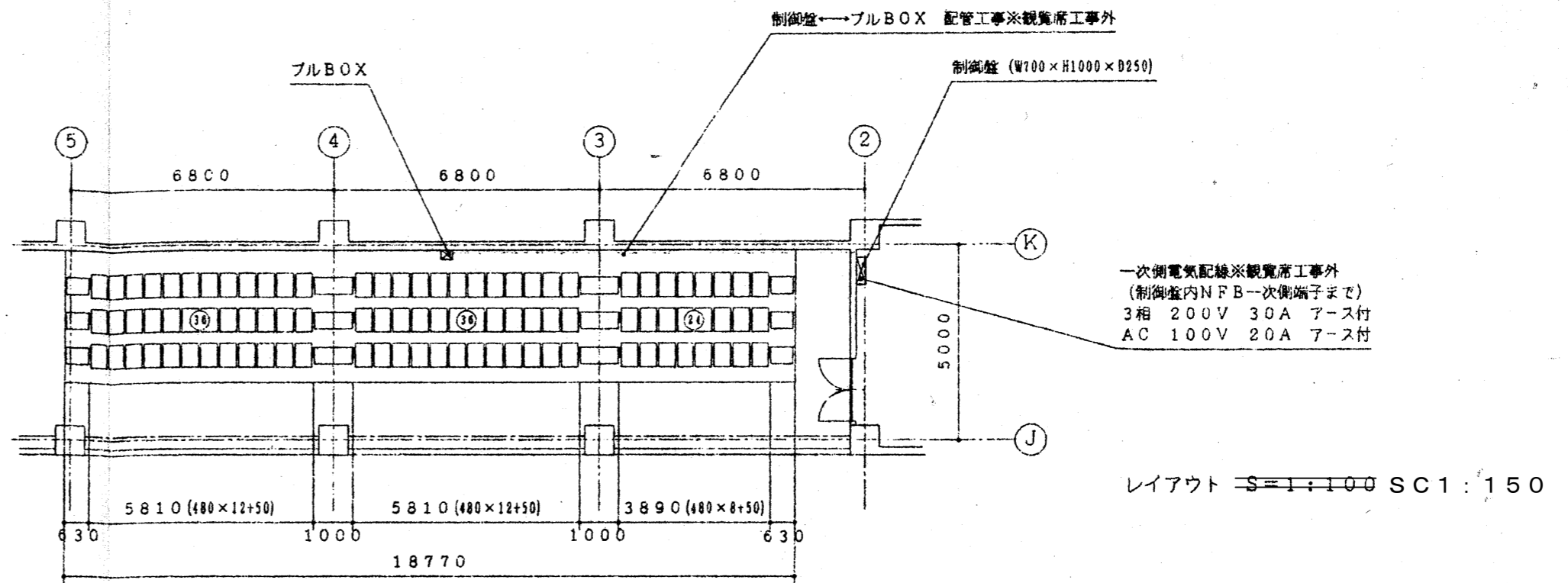
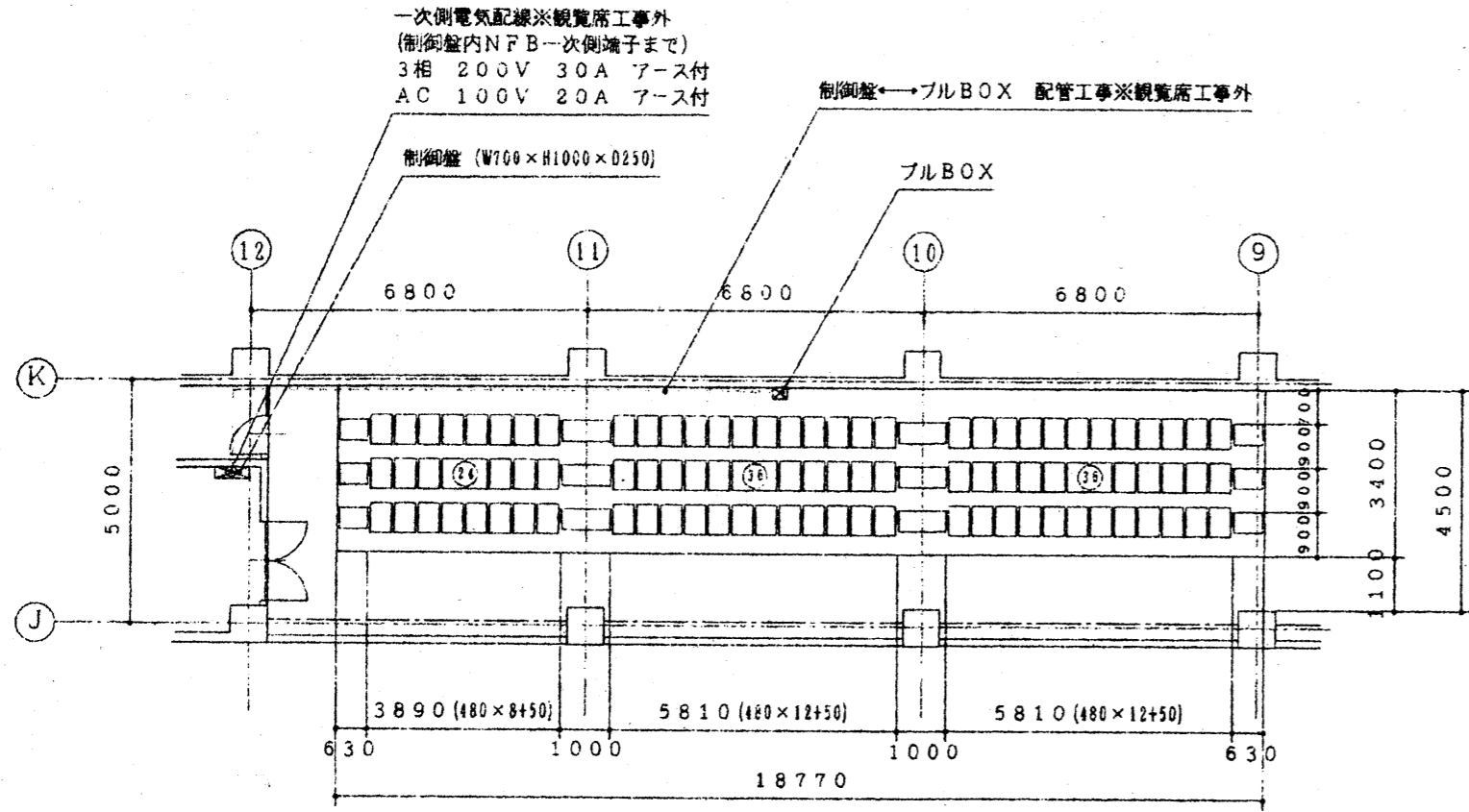
※建具等の寸法は 幅×高さ を示す。(各部屋共通)



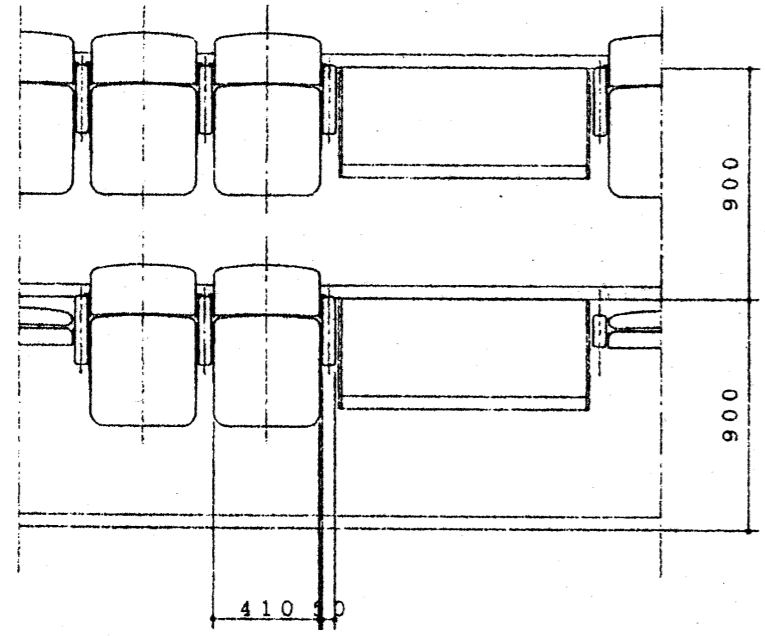
< 仕上げ表 > ※特記なき限り、建具は改修不要 (各部屋共通)

部位	既存仕上げ仕様	改修後仕上げ仕様
床	ビニルタイル	既設のまま
巾木	ソフト巾木 H=60	既設ソフト巾木撤去後、ソフト巾木 H=60 新設
壁	モルタル金ゴテ下地 ビニールクロス貼	下地調整の上ビニールクロス張替
天井	岩綿吸音板張	既設のまま
手摺笠木	モルタル金ゴテ下地 VP塗装	下地調整の上、EP塗装 (B種)

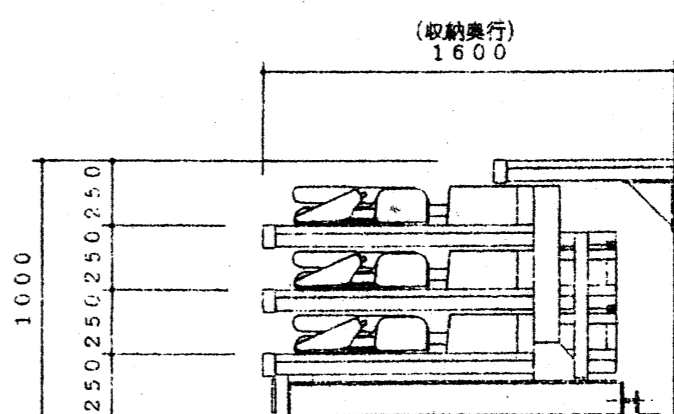
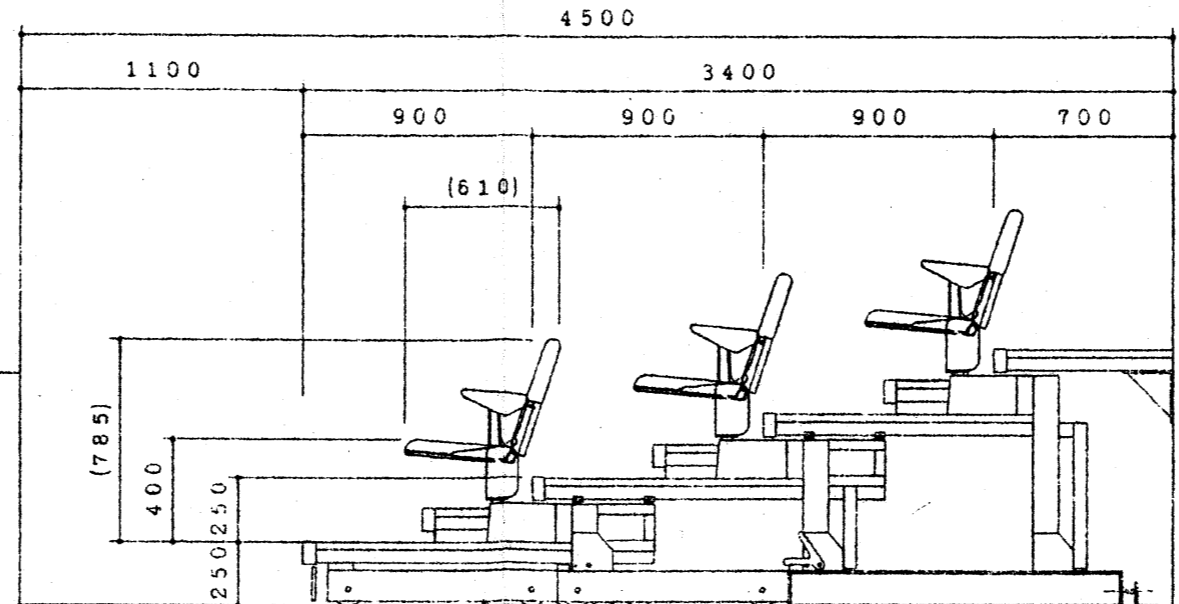
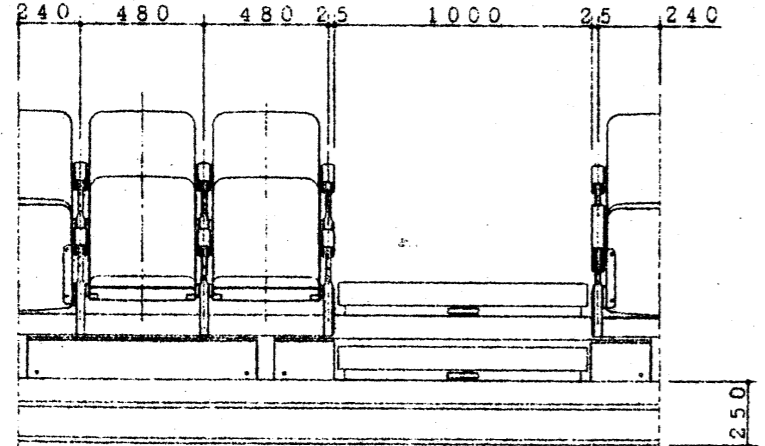
メッセウイング・みえ改修工事		縮尺 1/100
図面名称	展開図 (4)	原図 : A 2
津市建設部営繕課		No. 9 / 11



レイアウト 1:100 SC1:150



製品図 1:20 SC1:30



移動観覧席 AHF-A8105 (搬送固定型) 観覧客人数 192人 (96人×2バンク)
 芯×480mm 前後間隔 900mm 段差 250mm 段数 3段 4C-ル
 本体仕様

支柱	t3.2×100×50	角鋼管	二波反応ウレタン樹脂塗装 (黒半ツヤ)
車輪カバー	t3.2	鋼板製	二波反応ウレタン樹脂塗装 (黒半ツヤ)
床受材	t3.2	鋼板製	二波反応ウレタン樹脂塗装 (黒半ツヤ)
筋力イ	t2.3×50×50	角鋼管	二波反応ウレタン樹脂塗装 (黒半ツヤ)
ライザー	t3.2×150×50×20	リップ成形鋼	二波反応ウレタン樹脂塗装 (黒半ツヤ)
フロントノーズ	t2~t4	アルミ押出成型品	アルマイト仕上げ (ブロンズ)
床材	t2~t4	アルミ押出成型品	アルマイト仕上げ (シルバー)
床底面		ニードルパンチ	カーペット貼り
車輪	φ130	ウレタンゴム	(ボールベアリング) 入り

イス仕様 背座肘 運動折り畳み式

背	t9 成型台板 t10~t25 ウレタンチップ成型+t10 キルトウレタン入り 布地張り (平織地)
裏板	t0.6 鋼板 メラミン樹脂焼付塗装
座	t1.6×φ19.1 鋼管 t2 鋼板 プラマフレックス t25 ウレタンチップ+t10 ウレタンフォーム入り 布地張り (平織地)
肘	合成樹脂成形 (黒シボ付)
化粧板	t4台板 t5ウレタンフォーム入り 布地張り (平織地)
脚	アルミダイカスト メラミン樹脂焼付塗装
貫	t2.3×45×75角鋼管 メラミン樹脂焼付塗装
金具	t2.3, t3.2, t4.5鋼板 メラミン樹脂焼付塗装

動力仕様

本体駆動装置	三相 200V 0.2kw プレキ付ギヤードモーター
イス駆動装置	三相 200V 0.2kw プレキ付ギヤードモーター
制御盤	プログラマブルコントローラー内蔵
換気装置	ペンダントスイッチ
安全装置	作動警報ブザー、異常物感知停止装置、通員再運転停止装置 OKモニター
足元灯	非常電源内蔵型

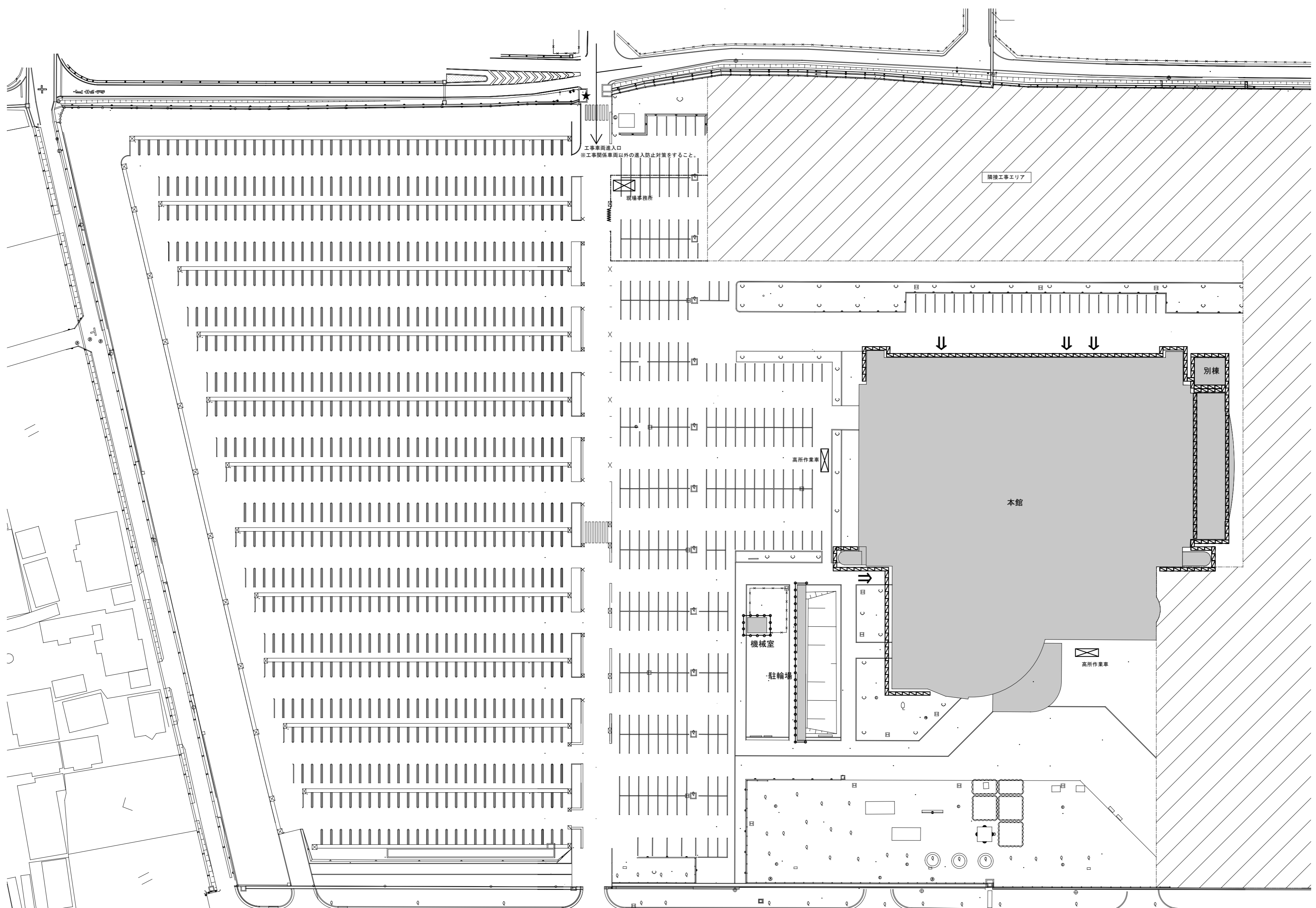
オプション仕様

※観覧席工事外
 ○一次側電気配線 (制御盤内 NFB 一次側端子まで)
 非常電源 AC 100V 20A (7-ス付)
 動力電線 三相 200V 30A (7-ス付)
 ○制御盤→フルBOX 配管工事 (注1参照)

注意事項
 設置階：階 (搬入経路確保のこと)
 建築床仕上げ：設置フロアと収納庫は、同一仕上げ材にて
 致差、見切り等のないこと
 フロアは、荷重問題等有り 打合せ必要
 収納庫：床面及び天井は、アンカー固定が可能なこと。

- 特記なき限り、下記とする。
1. 制御盤までの動力配線も撤去すること。
 2. 撤去後の壁面等の留め具穴補修を行うこと。

メッセウイング・みえ改修工事		縮尺 1/100
図面名称	収納式観客席詳細図 (撤去)	原図 A2
津市建設部営繕課		No. 10/11



工事車両出入口
※工事関係車両以外の進入防止対策をすること。

現場事務所

隣接工事エリア

別棟

本館

機械室

駐輪場

高所作業車

- 凡例
- 1. ---: ガードフェンス H=1800
 - 2. MM: キャスターゲート W6000×H1800
 - 3. ★: 交通誘導員(作業日常駐)
 - 4. □: 枠組み本足場(手摺先行据置型) 防音シート養生
 - 5. ○: コーン及びコーンバー
 - 6. ⇨: 施設利用者入口(足場三方に養生すること)

メッセウイング・みえ改修工事		縮尺 1/700
図面名称	仮設計画図	原図: A 2
津市建設部営繕課		No. 11/11